

地震リスクマネジメントと事業継続性に関する小委員会 WG3 (第5回) 議事録

日 時 平成 21 年 5 月 19 日 (火) 10:00~12:15

場 所 土木学会 D 会議室

出席者 委員長 : 吉川

WG3 メンバー : 中野、福岡、山川、広中

他 WG メンバー : 中村 以上 6 名 (敬称略)

配布資料 資料 1 WG3 (第 4 回) 議事録

資料 2 第 5 回 WG 議論メモ (福岡委員)

資料 3 現状の BCP に関する課題・改善点について (メモ) (広中委員)

資料 4 今後の WG3 の活動方針におけるメモ (山川委員)

資料 5 生産施設の BCP に資する 2 つの地震時復旧曲線 (中村委員)

資料 6 SRM-BCP 小委員会 HP 技術フォーラムのページ

議 事

1. 前回議事録の確認 (資料 1)

- ・ 内容を確認し、承認された。
- ・ HP にアップすること。

2. WG3 の今後の方向性に関する討議 (資料 2、3、4)

- ・ 公表されている BCP に係わるガイドラインにも、大企業向けのもの (フルスコープ) と中小企業向けのもの (あまり欲張った内容とはなっておらず、そこそこのレベル感) というように内容に差があるのが現状である。
- ・ ガイドラインは公表されているものの、具体的な方法や情報が記載されていないことが課題である。
- ・ 現状の BCP には主役が不在である。本来は経営者が主役であるべき。
- ・ シナリオが描けていないことが課題である。過去の事例に基づき、調査・分析を行うことが重要である。
- ・ 本委員会、本 WG でフォーカスすべきなのは、「リスク分析」、「事業影響評価」である。
- ・ 財務影響分析まで実施するのが本来の姿である。
- ・ 事業継続推進機構 (BCAO) にて、各企業の BCP に関する報告がなされた。各社、特色があり、皆違う。
- ・ 平成 19~20 年度に東京大学生産技術研究所で日本社会に適した BCM 研究委員会が設立され、その成果が報告書として取り纏められている。当 WG の活動にも大いに参考になりそうなので、全員で読み込むこととした。なお、平成 19 年度報告書のレビューの窓口は広中委員、平成 20 年度報告書のレビューの窓口は福岡委員とする。

3. 技術資料の紹介（資料 5）

- ・ 中村委員から、技術資料として「生産施設の BCP に資する 2 つの地震時復旧曲線」が紹介された。現状では未完成であるが、完成したら HP にアップされる予定。

4. SRM-BCP ホームページに関して（資料 6）

- ・ 技術フォーラムへの記事投稿は大歓迎とのこと。相談・依頼については、幹事役の篠原委員、山川委員まで。

5. その他

- ・ 次回 WG3 は以下のとおりとする（後日、調整の上、決定した）。

日時：平成 21 年 7 月 1 日（水） 15:00～17:00

場所：土木学会 C 会議室

以上 （記録：広中）